

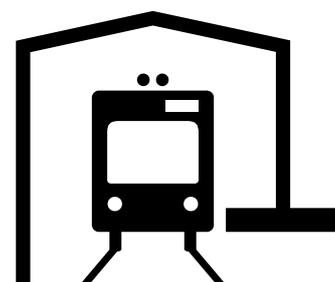
新潟農業体験

～ 写真編 ～



(右)大宮駅 新幹線ホーム Max とき号

(左)六日町駅 ほくほく線 0 番ホーム



専門演習(国際政治論)

秋吉ゼミ

実施日 5月30日～31日

活動報告

2009年5月30日(1日目)

世田谷棚田の会が運営している水田に到着



手前の稲穂が手植え専用の稲穂
奥にあるケースに入った稲穂は機械植え用の稲穂

現地における第一印象



「でもない所にある水田だ」



稲穂を植える間隔を調節する
為の結び目を作製している。
結び目の間隔がいい加減だった
ためか、やり直しをくらいました。



結び目に沿うようにして、
一列横隊で稲穂を植えて
行きます。

水田の泥に足を捕られて
転倒しそうになる事もしばし
ばありました。

稲穂を植える時の注意事項

田植えに入る前に説明された注意事項一覧

- 「稲穂を植える場合、2～3本の稲穂を纏めて所定の位置へ植える事」
- 「稲穂を持つ場合、利き手の中指を中心として優しく持つ事」
- 「稲穂は水田の泥に少なくとも2cm以上根の部分を植え、浮き上がらない様にする事」



「水田」という特殊な環境で植える稲穂は、植え方にも少々コツがいる

「世田谷棚田の会」との懇親会



十日町市内の商店街を「棚田の会」活動拠点の住宅へと行く道。

そこ、ブレてるとか言うな!!!

工夫次第でブレ写真も味のある作品になるのだぞ!

(写真ナメたら、いかんぜよ!)

「棚田の会」メンバーとの乾杯



お互いの作業を全うした事を祝い、乾杯を行いました。

写真右下の四角い枀に入っている白いお酒は、「どぶろく」と呼ばれているお酒で、昔は日本各地で自家製の「どぶろく」が製造されていたそうです。

ちなみに、十日町市は、新潟県でも数少ない特区制度によって、「どぶろく」製造を許可されている市だそうです。

2009年5月31日(2日目)



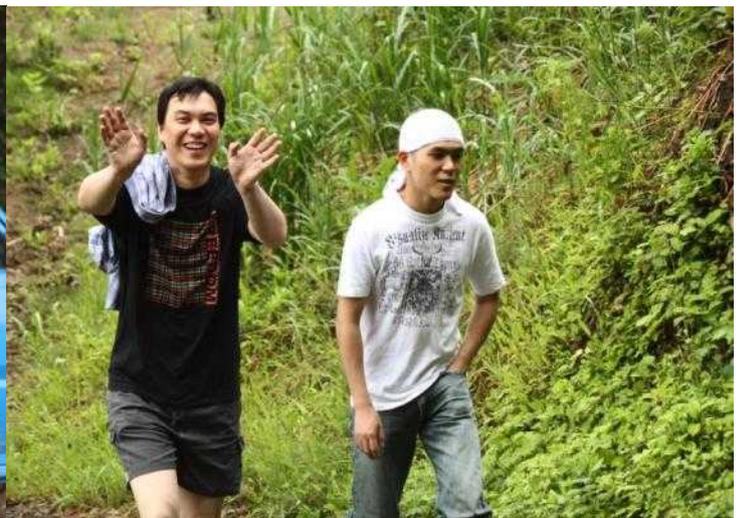
低気圧の影響によって朝から小雨が降る天気の中、昨日とは違った作業を手伝う事になりました。

(水田内作業班と、腐葉土採集班に班を分轄した)



畑の肥料となる腐葉土をトラックへ積み込んでいくゼミメンバー。水田内の作業を終わらせた班も途中から作業に加わり、トラックの荷台は瞬く間に腐葉土で埋め尽くされました。

機械化等はほとんどされていない為、ほぼ全ての作業が人海戦術になる。



最終作業、畑への肥料やり及び雑草の伐採



水田から少し坂道を上った先にある畑に、先ほど採集した腐葉土を肥料用の米糠と混ぜて畑に与えました。その他に、草刈り機で伐採した雑草を人力で運び出す作業を行い、畑予定地の整備と地均しを行いました。



予定されていた全ての作業を終わらせた後の記念写真の撮影
秋合宿では稲刈りを予定している為、気合を入れて取り組みたいです。